

白河地区保護司会会報

更生保護 しらかわ

責任者
会長：三森 繁サポートセンター
白河市表郷番沢字和田46-9
TEL 0248-21-5922編集者：広報委員会
題 字：三森 繁会報アドレス
<http://www.srkw.or.jp/~mimo/hogoshi/>

保護司信条

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって

一、公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。

一、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の防止に努めます。

一、常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

平成六年五月制定



『原山1号墳出土力士像埴輪』

— 福島県指定重要文化財 —

原山1号墳は、泉崎村に昨今オープンした農産物直売所「はにわの里」の向かい側の丘陵上に所在します。

この力士像埴輪は、切り立った崖に転がっていたのを近所の子供たちが拾って公民館に届けられたもので、後に学術的発掘調査が行われる端緒となりました。

約1,500年前につくられた埴輪であると推定されており、当時の日本に力士がいたことを示す最古級の資料であると評価され、教科書をはじめ様々な資料に紹介されています。



ご挨拶

白河地区保護司会

会長 三森 繁

令和二年十一月五日に白河文化交流会館コトニスにおいて開催予定であった第三十七回福島県更生保護大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止となりました。改めて、誠に残念でありました。改めて、令和四年度更生保護大会開催に向けて調整を行うて参りたいと思います。

このような中でも保護司の皆様には誠意ある更生保護活動にご尽力いただいていることに、心から敬意を表するものであります。

先般、十二月に東北管内地方別代表者協議会が福島県会場のため福島保護観察所で開催されました。各地区保護司会長等が出席し、TVネット会議の方法で行われました。

これからのコロナ禍の非接触型更生保護活動を模索して行く参考になる会議等の在り方であると思っています。

私たち保護司活動は地味な活動ではありますが、地域の安全安心には大きな力になっていると自負しています。これからも、活動拠点としてのサポートセンターが設置されていることから、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染防止対策を徹底させ、一歩一歩進みながら各種会議、事業、研修会、更生保護活動を継続していかねばならないと思っておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また、今まで休会状態でした白河地区BBS会が新たに発足されました。これからも、更生保護女性会、OB会及びBBS会等とも連携しながら犯罪のない、明るい社会づくりに力を注いで参りたいと思っております。

結びに、皆様の更なるご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

瑞宝双光章受章
(更生保護功労)

異例づくしの受章



藤田光徳

三月中旬、観察所より受章の連絡がありました。四月七日に緊急事態宣言が発出され、一気に自粛ムードが高まりました。そのような中、四月中旬には法務省より、宮中における拝謁並びに法務省での伝達中止の通知が来しました。

四月二十九日の新聞に春の叙勲が掲載され、思わぬ人からの手紙や、懐かしい人からの電話は喜びでした。八月六日の研修会の席上、ようやく叙勲の伝達があり、賞状を戴くことができました。しかし、コミネスでの更生保護大会の中止も報告されました。

異例づくしでしたが、十二月二十二日の保護司会の皆様の祝賀会は、驚きであり感動を覚えました。誠にありがとうございました。また、久しぶりに美味しい蕎麦を堪能致しました。





更生保護活動の継続について

福島保護観察所

所長 北條 靖

白河地区保護司会の皆様には、平素から、保護観察、生活環境の調整、地域における犯罪予防活動などを積極的に展開されて、大きな成果をあげていただいております。皆様の御労苦に対しまして、心から感謝申し上げます。

また、昨年十一月五日に白河文化交流館コミネスにおいて開催予定であった第三十七回福島県更生保護大会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となりましたが、開催に向けて準備をしていた白河市をはじめ関係機関・団体、そして更生保護関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応は、長期戦となる様相を呈しており、感染症対策の徹底が求められています。一方で更生保護活動の継続も求められています。特に保護司適任者の確保と再犯防止の推進は更生保護の喫緊の課題であります。白河地区保護司会におかれ



北條所長よりメッセージ伝達

ましては、高い保護司の充足率を維持していただいておりますが、引き続き保護司の適任者確保にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。また、福島県の再犯防止推進計画も策定されますので、白河地区におかれましては各自自治体の地域の実情に応じた再犯防止推進計画の策定にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



更生保護の意義と役割 そして現状と課題

福島保護観察所
保護観察官

牧野 誠

更生保護とは、犯罪をしたものの及び非行のある少年が、再び犯罪をすることを防ぎ、又はその非行をなくし、善良な社会の一員として自立し改善更生することを助けることで、社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的とするもので、保護観察、生活環境調整、犯罪予防活動などをその主たる内容としています。

犯罪や非行に至る過程は、その者を取り巻く環境が影響していることが多く、その改善更生には個人の努力だけでなく地域社会の人々の理解と協力が不可欠であり、保護司をはじめBBS会、更生保護女性会、協力雇用主等の民間協力者や団体によって更生保護の基盤は支えられています。

ところが近年、彼らを地域で支えている保護司のなり手が不足しているという課題に直面しています。

保護司の減少は、将来的観点も含めて、こういった地域の理解者の減少を招くことと同義であり、やり直そうとする人の居場所をなくす事にもつながります。このことは「再犯防止」の課題をより大きくすること



夏の研修

にもつながり、結果的に安全安心な社会を遠ざけることにもつながります。

幸いにも白河地区内では保護司は安定的に確保されており、更生保護の精神も先輩から後輩の保護司に熱く継承されているなど更生保護の土壌が非常に良く形成されていると感じています。

保護司適任者確保の課題は、保護司だけの問題ではなく、更生保護官署としても向き合っていくべき課題ですが、更生保護制度を支えていけるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

白河地区保護司会研修会

研修部会長 小 椋 栄 一

一、第一期地域別定例研修会は五月二十日総会前に「福島県内の更生保護の現況」のテーマで開催されるのであります。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、総会の開催と併せ中止となりました。

二、第二期地域別定例研修会は八月六日に「接触（往来・来訪等）のテーマで開催しました。

三、第三期地域別定例研修会は十二月二十二日に「仮釈放制度」のテーマで開催しました。

四、研修旅行については九月二十四日に「最高裁判所見学」を計画し予約までしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

五、SST研修会については三月十九日に開催予定です。

今回の研修会では、保護観察対象者の日常生活を安定させ再犯を防ぐための対人関係を獲得するために、必要なものの考え方や行動の取り方等について学習を行います。

どうしても対象者の出来ないところをみて助言、指導をしているのではないのでしょうか。今、できていることに着目し、本人の長所を伸ばすことの大切さに気付かせてくれる研修になると思います。



冬の研修

今年度の活動

1 第七〇回 社会を明るくする運動

(1) メッセージ伝達

北條靖観察所長より
鈴木和夫市長へ



白河方部保護司参加

矢吹町(7月2日)



矢吹方部保護司参加

三森会長より
蛭田泰昭町長へ

白河市(7月1日)

泉崎村(7月2日)



泉崎方部保護司参加

三森会長より
久保木正大村長へ

中島村(7月2日)



中島方部保護司参加

三森会長より
加藤幸一村長へ

西郷村(7月2日)



西郷方部保護司参加

三森会長より
高橋廣志村長へ

西郷村(2月15日)



西郷村役場にて

(ア) 社会を明るくする運動
作文コンテスト表彰
【優秀賞】
遠藤芽唯さん・足立志温さん
(西郷第一中学校)

泉崎村(10月22日)



泉崎中学校にて

(ウ) 泉崎中学校一年生への
記念品贈呈
地区防犯指導隊と合同事業

中島村(9月11日)



吉子川小学校にて

(イ) 講演会
総務部会長 吉田茂典

保護司としての抱負



保護司
佐藤 修



保護司
荒井 忠昭

令和二年六月一日付で「保護司」を拝命いたしました。白河地区保護司会の名簿を見ますと私の大先輩が多く、敬意を表すると共に、改めて身の引き締まる思いを強くしているところです。先輩方の真摯で真心から取り組まれている姿勢に感銘を受けつつ自身の研鑽を重ねたいと思います。今後ともよろしく願っています。

私が保護司になったのは、子供が高校生の頃に、保護活動をした経験を思い出し、少しでも地域のためになるなと思い引き受けた次第です。保護司は、犯罪を犯した人や非行のある少年の立ち直りを支えるボランティアですが、少しでも地域のためになるように頑張りたいと思います。



保護司
箭内 貞男

幼い頃から、就職そして定年退職した今も公私ともにお世話になり、ご指導いただいている元保護司で地元の大先輩からのお話があり、地元のためになるのであれば、保護司を引き受けました。また実感はありません。研修や先輩の先生方のご指導を仰ぎながら、保護司としての資質を高めていきたいと考えているところです。

第37回 県更生保護大会

・十一月五日
・白河市(中止)

受彰者(白河地区)

瑞宝双光章(更生保護功労)

藤田 光徳

法務大臣表彰

松尾 千鶴子

全国保護司連盟理事長表彰

森田 一実

東北地方保護司連盟会長表彰

大塚 勢津子

東北地方保護司連盟会長表彰(家族功労者)

佐藤 昌邦

芳賀 憲子

福島県知事感謝状

鈴木 裕一

福島県保護観察所長表彰

渡辺 浩志

福島県保護司会連合会会長表彰

秋山 充司

福島県保護観察所長感謝状

高橋 泰志

安部 和夫

安部 和夫

鈴木 志津子



大会パンフレット

受彰者のことば

法務大臣表彰

松尾 千鶴子

この度、法務大臣表彰を戴きましたこと誠にありがとうございます。

保護司の活動をさせていただいてから二十二年になり、勉強させていただいた事が沢山あります。これまで続けてこられたのは、諸先輩や周囲の方々の指導と家族の協力があったからと感謝しております。これからも自分に何ができるかを考え、少しでも社会に貢献できれば良いと思っております。

法務大臣表彰

吉田 恵

法務大臣表彰の栄に浴しました事は、大変光栄です。保護司を拝命して二十二年目となり、ここまで来れたのも福島県保護観察所の皆様、諸先輩保護司並びに保護司会の皆様のご指導とご支援の賜と感謝いたしております。

今後も更生保護活動や地域社会のために、矢吹方部保護司の皆様と二社会を明るくする運動」を続けて活動してまいりたいと思います。

法務大臣表彰

石田 久美子

この度、栄えある法務大臣表彰を戴きました。

私は、平成十三年に保護司を拝命し、約二十年間活動させていただきました。

二十年間保護司を務めてこれましたのは、会長さんをはじめ、諸先輩の皆様の丁寧なるご指導の賜と心より感謝申し上げます。

令和2年度白河市政功労表彰(福祉)

安部 かよ子



去る十一月三日鹿島ガーデンヴィラに於いて、白河市政功労表彰を賜りました。この度の受彰は、私にとりまして、まさに青天の霹靂でありました。関係機関並びに関係者の皆様方に対しまして、心より厚く御礼申し上げます。

数多くの市民がそれぞれの立場で、私以上にご尽力なさっている方々がおられます。そのことを念頭に、まだまだ未熟な私ですが、尚一層のご指導ご鞭撻を賜り、精進して参りたいと存じます。

「福島県更生保護協会」理事就任のご挨拶
(令和二年十月二十七日)

新妻 眞孝



令和二年十月、理事就任を致しました。

元来、積極的な人間ではないので、あまり役を経験したことはありませんでした。しかし、今年は七十歳、少しでも社会に貢献しなければ悔いが残るのではないかと思います。お受けいたしました。今後は、精一杯重責を果たす所存であります。また、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

白河地区(新)BBS会発足

白河地区BBS会会長

門馬 智幸

白河地区BBS会は昭和三十三年に発足し積極的な活動を展開してまいりましたが、平成に入るところには休会状態となっていました。令和の時代を迎えた今、少年が自ら立ち直り成長していくのを側面から援助するともに非行防止活動を積極的に行っていきたいと考え、令和二年四月十八日に十一名の会員で発足しました。本県では福島、郡山、須賀川、会津若松、いわき北の地区でそれぞれ活動をしています。

また、この度、令和二年十一月五日付けで東北地方BBS連盟会長表彰を受彰することができました。

本会でも、白河地区保護司会や他地区BBS会と連携しながら、地域に根ざした特色ある活動を行って参りたいと考えています。



退任・新任保護司紹介

■退任

大高 育雄 (白河市)

令和2年5月31日

菊池 千代子 (西郷村)

令和2年5月31日

佐々木 直信 (矢吹町)

令和2年11月30日

■新任

修 (西郷村)

令和2年6月1日

荒井 忠昭 (白河市)

令和2年6月1日

・ 箭内 貞男 (泉崎村)

令和2年12月1日

広報委員

秋山 充司 後藤 邦雄

須藤 俊夫 水戸 邦夫

池嶋 知与 徳田 芳江

編集後記

皆様のご協力により、記念すべき一〇号を発行することができました。

今回は、十年目の節目と新型コロナウイルス感染症予防を祈念して、題字を三森会長にお願いし、新たな広報誌を発行することに致しました。

今後も、白河地区保護司会の活動を多くの方々に紹介して参りたいと思います。

「コロナ渦の

己を見つめ人思い
明日も夢見る 更生の道」

(文責 秋山)